

1. 件名：「美浜発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（7）、高浜発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（7）及び大飯発電所の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（7）」

2. 日時：令和3年2月12日（金）10時00分～10時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：小山田安全規制調整官※、三井上席安全審査官※、佐藤主任安全審査官、中村主任安全審査官※、永井主任安全審査官※、菅谷技術研究調査官、松末技術参与

関西電力株式会社：土木建築室 地震津波評価グループ

チーフマネジャー 他3名※

原子力事業本部 原子力土木建築センター 課長※

東京支社 技術グループ マネジャー※

※：テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・大山生竹軽石の噴出規模見直しに係る指摘事項への対応方針について

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	はい。おはようございます規制庁の佐藤です。それでは
0:00:06	関西電力さんの
0:00:10	DKPですね、DNPですね、これに関してヒアリングを始めたいと思いますので、関西電力さんのほうから御説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。
0:00:25	はい。関西電力のヒサオカでございます。どうぞよろしくお願いいたします。
0:00:31	と事前に電子データのほうですね。見させていただいております。4の資料1枚でございますけれども、資料1ということで外線名前だけ軽石の噴出規模見直しに係る指摘事項への対応方針について、これとことに関してで説明をさせていただきます。
0:00:46	こちら前回によってオカのヒアリングのときに御指摘いただきました。合計10個の指摘事項とプラスアルファでございますね、修正事項が我々のほうでございましたので、合計11.0に關しまして御説明をさせていただきます。
0:01:00	まず、上から順番に行かせていただきます。1項目目でございますけれども、こちらに關しましては、三つのテフラ、カイダ担当DKP恵比寿峠福田へ通知するに至ったプロセスに関する記載を充実させたほうがいいのかというところのコメント、
0:01:17	でございましたけれども、こちらの前回のヒアリングで御説明した新旧比較表のほうでは省略していたんですけれども、既許可のほうでは、こちらの三つのテフラ抽出するに至ったプロセスに関して記載をさせていただきます。の補正申請にあたっては、こちらに關して修正がないというところでそれこそ、
0:01:36	一旦ですけれども、そちらの層を確認してございますと耐専くらい押しテフラというふうに記載している文言がございます、こちらに關しましては工事と同様にばい菌クラス軽石への変更する必要があるということで、次の補正にあたっては、
0:01:52	こちらの記載もを追記して追記修正した形で反映していきたいというふうに思っております。
0:02:00	なのでコメントのところに関しましてはすでにところで、反映はされているというところになります。一方で、この表の1項目目右側、対応方針のところの赤字のところでございますけれども、こちらに關しましては、三つのテフラというところが、
0:02:18	始良単価はDKP恵比寿峠福田でございましてDNPが入っていないようなところになりますので、DNP顔を抽出したといったところを記載も充実してさせていただきます。赤字のところでございますけれども、この繰り返し当時単価後原子力規制委員会に①価値によると、

0:02:36	こちら指針において大変なまだ軽石の方向、配当は評価等に 15cmとしてい るとこのDNPについてという形でDNPがこういった形で認められているとい うところを追記してございます。
0:02:52	二つ目でございますけれども、こちらのルビのところですが、国が7を追 記していたほうがいいのではないかといたところで、財政名前だけ軽石が初 めてくるタイトルの所Bポツのところ耐専ナカニシに関して振り側のピークと いう形にいたします。また、
0:03:10	その他の間探査等のTephra2 に関しましては先ほど申し上げましたの補正 申請省略していたところを抽出至った過程のところの文章で出てきますので、 その中にルビを振っているというような形になります。
0:03:24	三つ目。
0:03:26	けれども、DKPの規模に関する本資料の明示的な記載ということで、こちら の戦術ご指摘いただきました通り、発電所用期間中におけるこの規模括弧を 約 20kmを立米以上という形で赤字の部分を追記したいと思います。
0:03:42	また四つ目でございますけれどもグロス方早く方法に関する運用文献の記載 ということでございまして、こちらに関しまして、NS方向格好 2000 やはりタ カオカ子 1985 で算出した結果という形で、
0:03:58	二つの文献を追記したいと思います。文献を追記しますので、これ以降の文 献の番号がずれていくような形になります。
0:04:08	幾つか稜でございますけれども、原子力規制委員会に 019 の知見要否という ところで、こちらに関しましては、技術評価検討会のパワーポイント資料とい うことで8件として運用するというのはどうかといったところの御指摘だったかと思 います。
0:04:24	コインをしている箇所が合計 3ヶ所ございまして、そのうち、この表の右に書い ております赤字の 2ヶ所、こちらはマグマのページから 30kmといったところの 根拠としている文章のところでございますけれども、
0:04:40	2ヶ所は削除する方向で考えてございます。三つのうちも一つのところに関し ましては、高噴出率期低噴出率期に関する文言のところでございます。
0:04:53	この原子力規制委員会にマルっちゅうに基づいて理事NPOを低噴出率期、D KPを後発続きとして評価をされてしていた、そのあとの研究でどちらも高噴出 率となったということで、ただ最終的な評価としては 2MPa 予定噴出率期とし て、
0:05:11	評価を進めていったという流れでございますのでそのNPO低噴出率期として みなして評価していくというところの根拠になる分権というところでは、その記 載に関しては、この参考文献残しておくべきかなというふうを考えまして、
0:05:26	その 1ヶ所に関しては、この 4 分岐を残しております。

0:05:32	次に、F六つ目でございますけれども、XI今日立米とか 2c層などの記載、こちらのバツになっていないとかですね、小文字になっていないというところでございますので、申請書のほうを確認させていただきますと、Km立米のところに関しましては、しっかりは月になってございましたが認識し、
0:05:52	このCに関しては、文字になっておりましたので、こちら小文字に修正するという形で対応したいと思います。
0:05:59	また7バン8番は、対応同じところなので、まとめて御説明しますと、第1000と個社別の発電所までの距離の関係に関する積追加であったりとか、この距離の関係に基づいて評価した層圧の記載の適正化でございますが、こちらの文章を右側で修正してございまして、
0:06:18	耐専から越畑地点までの距離だったりとか発電所までの距離というところを括弧書きで記載を各サイトをしていきたいと思っております。また、最後の教員の半径に基づいて評価した層圧こちらは以前のヒアリングでは切り上げた後の数字で22cmと記載してございましたが、
0:06:37	こちらの評価では益上げる前の数字を記載するべきでございますので21.4cmという形で修正をしたいと思います。
0:06:46	また、9番でございますけれども、こちら引用文献の定めが誤記があるというところでございます。44番のお金をカイダんところのペーシ目の前のほうを修正してございます。
0:06:59	10番でございますけれども、引用文献51番、気象庁のホームページを確認した日付を記入すべきだというところでございます。文献、引用文献のところに確認、2020年2月4日という形で記載をさせていただきます。
0:07:17	最後の11番でございますが、こちらのコメントにはなかったんですけども、文献の64番の所もともとこれ、原子力規制委員会という形で書いてございましたが文献としては正しく規制庁でございましたので、その表記の修正を行ってございます。
0:07:37	修正はございます。説明は以上でございます。
0:07:41	そう。
0:07:42	はい。規制庁本庁のサトウですありがとうございます。
0:07:46	私からですけど、
0:07:49	先日のコメントを適切に何か反映させていただいているように思いますけども、
0:07:58	1点だけですね
0:08:02	引用文献のところ
0:08:05	当原子力規制委員会の例のPowerPoint引用しているところですね、これ3ヶ所あって1ヶ所だけは本市にしますという御説明だったように思うんですけども。

0:08:19	それ、それは高噴出率期と低噴出率期の関係を言わんと言いたいということでそこは濱本域というふうな説明がありましたけども、
0:08:33	これは多分あれですかね
0:08:39	うちの
0:08:41	安全研究の多分あの報告書から引用し、
0:08:45	ているんですかね。
0:08:47	した方が何か適切なような気がしないでもないんですけど。
0:08:52	そこはいかがですか。
0:09:01	これもパワーポイントですか。
0:09:05	ちょっと確認ですけど。
0:09:07	各電力のテラダでございます。
0:09:10	報告書のほうではDNPが低噴出率期であるというふうな読み取りはできる機会がなかったかと思ひまして、それが読み取れる。このパワーポイント資料、こちらを引用をさせていただくのが適切かなと考えてございます。
0:09:33	わかりました。じゃあそこはじゃあまあそこを本市で結構です。そしたら、
0:09:39	後に故障は削除ということで承りましたけども一つだけで一つだけちょっと確認ですけども、
0:09:53	何ページえっとねんと二つ目、二つ目の削除したところなんですけども。
0:09:58	原子力規制委員会 2019 による 10km以浅とのマグマの定置深さの推定は 100 立方キロを超えるカルデラ噴火を対象に云々っていうところも全部消しちゃってことですかねっていうのは、地下深部の低速度層の上端深度の約 20、
0:10:17	というのはそれに対して十分低い値にありますっていうところは、
0:10:22	ここだけは生きるんじゃないですかね。
0:10:25	もできちゃいますか。
0:10:28	この 1234 行。
0:10:34	それとも、もう前の文書でも読めるんですかねそれは、
0:10:39	今はよって立つのは金オカ、
0:10:42	ヒダ 1997 とか等未病っているそのマグマ中浮力中立点の深さ 7kmですと、
0:10:50	だけどトモグラフィーの結果を見ると、もっと比深いところに
0:10:57	仮に低速度層があるんだけどそのマグマだまり仮に考えても、もっと深いところにあるんでっていう。多分そういう流れなんだけど。
0:11:07	全部消しちゃっても、そこはよく読めますかね。
0:11:26	すみませんと関西電力のヒサオカです。それと今あの申し上げていただきました通り、すでに上の文章のところで 20km以深に実施することが示されるとか

	ですね、そういった記載がございますので、そこで読み取れるというふうに判断してすべてケースというふうに考えてます。
0:11:46	わかりました。承知しました。
0:11:49	この件はちょっと補足でちょっと基盤グループの方にも一応情報共有はさせていただいたんですが、やはりですね基盤グループの知見は或いはカルデラ噴火を起こした火山というふうなことで定値深さ 10km という
0:12:04	そういう結論に至ってるんですけども本件対照してる大線はカルデラ噴火をしたという知見はないので、やっぱりそこで
0:12:18	定値深さ 10km という、これを要するそういう知見を要するっていうのは不適切なんじゃないかなというふうなちょっとコメントもあったので、併せてちょっとコメントをさせていただきます。補足ですこれははい。
0:12:34	それから、ちょっと最初のほうに戻らせていただきますと、
0:12:42	三つのテフラの注水板とプロセスっていうのはすいません、これ
0:12:46	当期オカの方には一応紹介ってはいるんですね、この敷地敷地周辺において降灰層厚が比較的厚い降下火砕物としてっていうのは多分、
0:12:59	入っていて、
0:13:01	それで、あいだとかアートは 1000 くらいをして、それから第 1000 生竹、それから恵比寿峠か。
0:13:11	という、今四つになっちゃうのかなというという整理でよろしいですか。
0:13:18	今回の補正は差分しか書いてなくて多分もつと元のその既許可のものにはそれがちゃんと明記されているという、さっきそういう説明だったんだけど、そういう理解でよろしいですか。
0:13:31	当関西電力のヒサオカです。当省としましては、7 ポツ 5 ポツ 1 ポツ 1 の降灰層厚に関する文献調査及び地質調査結果というところが前回のヒアリングのマシン 900 のほうでも文章丸ごと省略をしてございましたが、
0:13:49	時許可のほうには、この 7 号、7 ポツ以降ポツ 1 ポツ 1 のところに文章がございまして、その結論のところは文献調査及び地質調査に加え、時関係も含めた含めて検討した結果、敷地及びその周辺において降灰層厚が比較的厚い。
0:14:06	始良担当ってクラブ耐専暮らし軽い装備峠福田テフラを対象に検討したという形で続いていくような流れになってございます。
0:14:16	以上です。
0:14:17	。
0:14:20	1 と私はさっき申し上げたことでよろしいですか。間違いはないですか。大丈夫ですか。

0:14:26	アベルコでは間違いございませんがないですね。はい、わかりましたありがとうございますございました。
0:14:36	私からちょっとこの大きなコメントこの二つ確認できたのであとは記載の適正化の範疇かなというふうに思いますけども、
0:14:47	ちょっと他のメンバーにちょっと聞いてみますと本庁でのメンバーではよろしいですか。特にコメントないですか。
0:14:57	リモートで入っている規制庁の皆さん何かコメントありますか。
0:15:02	確認したいこととか、
0:15:10	よろしいですかね。
0:15:13	それではですね一応今日対応方針ということで、お話を聞きしましたので、
0:15:21	これを踏まえてという対応になりますけども、今後、
0:15:25	よろしくお願ひしたいと思います。
0:15:27	詳細をコヤマダさんの方から何かありますでしょうか。
0:15:35	はい。慶長のコヤマダ。
0:15:37	私のほうは特段コメントはございませんが、
0:15:42	今後の予定とか、もしわかったら教えていただけますでしょうか。
0:15:48	関西電力の寺田でございます。今回の対応としまして再補正申請をさせていただくということで考えてございます。ちょっとスケジュール等につきましては、ちょっと災害調整中ですので、また事務方なりから情報が
0:16:05	両方入れさせていただくことになろうかと思ひます。
0:16:08	以上です。
0:16:12	はい。結局コヤマダで
0:16:13	これ予定の方が決まりましたらまたご連絡いただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。
0:16:20	私からは以上。
0:16:23	はい、ありがとうございます。
0:16:26	それでは本日のヒアリングはこれで終了させていただきますと、
0:16:31	ちょっと短いですがこれで終わります。どうもありがとうございました。
0:16:35	ご苦勞さまでした。
0:16:36	どうもありがとうございました。